

第6学年1組 体育科（保健）学習指導案

平成29年2月10日（金）5時間目
児童数 男子16名 女子19名
授業者 教諭 藤原 真二（T1）
養護教諭 佐藤 智恵子（T2）
場所 体育館

1 単元名 病気の予防（2）（喫煙の害～地域のさまざまな保健活動）

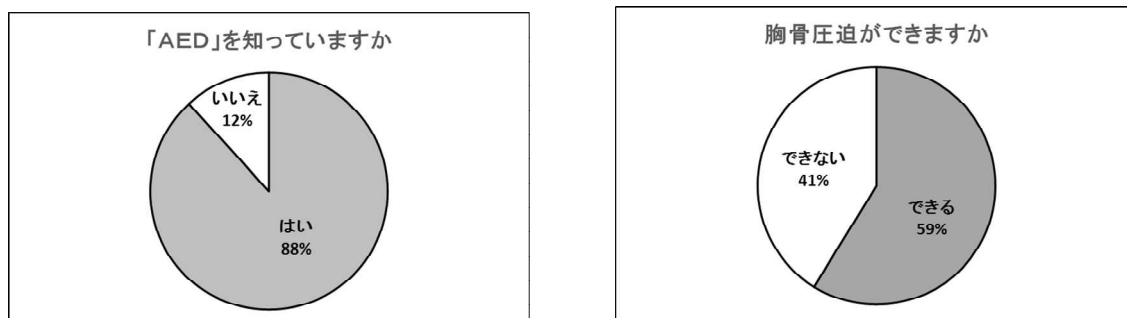
2 単元について

本単元は、2学期に学習した「病気の起こり方」から「生活のしかたと病気」に続き、喫煙や飲酒、薬物乱用の恐ろしさを理解させるとともに、地域では様々な保健活動がなされていることを知らせることをねらいとしている。病気の予防については、病気の発生病因や予防の方法、喫煙・飲酒・薬物乱用が健康に与える影響を理解できるようにする必要がある。このため本単元は、喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為が、健康を損なう原因となること、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることなどを中心として構成している。

さらに、命にかかわる突発的な発作等が起きた際の行動については「緊急時の対応の仕方・胸骨圧迫の行い方・AEDの機能や役割」を中心に、演習を通じて理解を深めることで、第5学年で学習した「けがの防止（緊急時の対応）」と中学校第1学年での「AEDの使用を含む心肺蘇生法の行い方」に円滑に接続できるようにする。

3 児童の実態

本学級の児童に、緊急時の対応についてアンケート調査を行った。（12月5日実施）



「AED」を知っていると答えた人に聞きます。何に使うものですか

・名前だけ知っている	14人	・心臓を動かす	10人
・電気ショック	2人	・心臓の動きがわかる	2人
・体につける	1人		

「人が倒れていたとき、あなたにできることはありますか」という質問に対しては、すべての児童が「はい」と回答した。「何ができますか」という質問には「大人を呼ぶ」や「救急車を呼ぶ」の回答が多くみられた。また、AEDについての質問では、約9割の児童が知っていると答えたが、どのようなものかを記述させたところ、「名前だけ知っている」や「心臓を動かすもの」との回答が多く、AEDの役割を正しく理解している児童は少なかった。胸骨圧迫についての質問では、約9割の児童が知っていると答えたものの、「胸骨圧迫ができますか」の質問に「できる」と答えた児童は約6割だった。

昨年度「けがの防止（緊急時の対応）」で学習した「人が倒れていたとき、まずは助けを呼

ぶことが大切」ということをほとんどの児童が覚えていたと思われる。しかし、胸骨圧迫については自信のない児童が多く、AEDについての理解が不十分な児童がほとんどであることが実態として把握できた。

4 教師の指導観

本単元は、病気の原因と予防について理解させ、病気を予防するための思考力・判断力を育てることをねらいとしている。

「病気の予防」（喫煙の害～地域のさまざまな保健活動）では、喫煙や飲酒、薬物乱用が人体に及ぼす影響を理解させるようにする。

心肺蘇生の学習に関しては第5学年において、人を呼んで助けを求めることから、救急車が到着するまで胸骨圧迫を続け、AEDを手配するところまでを学んだ。本時では訓練用AEDで使い方を練習することにより、AEDの機能や役割を理解させ、抵抗感や恐怖感もたずに使用できるようにする。AEDの使用については、うまくできないことが考えられるが、将来的に正しく使えることを目標とし、AEDの機能や役割に関する知識を児童に定着させることをねらいとしている。この学習を通して、目の前で命に関わるようなことが起きた際に、自分にもできることがあるということ、そのために必要な対処の仕方を学ばせたい。

また、「保健学習における心肺蘇生法実習の指導の手引き」によると、さいたま市では中学校において「AEDの使用を含む心肺蘇生法の実習を行う」と明記されている。中学校で気道確保と人工呼吸、AEDの使用法について学習することから、小学校段階で「緊急時の対応の仕方・胸骨圧迫の行い方・AEDの機能や役割」について体験を通して理解させ、中学校に円滑に接続できるようにしたい。

5 単元の目標

- (1) 病気の原因を知り、それを防ぐための健康な生活のしかたに気付き、病気の予防について関心をもつことができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 病気の予防について自分の行動や環境から見直し、その原因や友達の考えを参考に、健康に過ごせるよう判断することができるようにする。 【思考・判断】
- (3) 病気の予防のために、健康な生活を送り生活環境や体の抵抗を高めるための大切さ、喫煙・飲酒・薬物乱用の恐ろしさを理解することができるようにする。 【知識・理解】
- (4) 実習を通して、AEDの機能や対応のしかた、胸骨圧迫の方法を理解することができるようにする。 【知識・理解】

6 単元の評価規準

観点	ア 健康・安全への 関心・意欲・態度	イ 健康・安全についての 思考・判断	ウ 健康・安全についての 知識・理解
単元の評価規準	病気の起こり方や予防のしかたに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	病気の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動により、実践的に考え、判断し、それらを表している。	喫煙や飲酒、薬物乱用などの原因や健康への影響について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

学習活動に即した評価規準	①病気の予防について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。	①病気の予防や対応について、教科書や資料をもとに、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。	①喫煙、飲酒、薬物乱用の健康への影響について理解したことを発言したり、書いたりしている。
	②病気の予防や対応について、実習や話し合いなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。	②病気の予防や対応について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見いだしたりなどして、それらを説明している。	②人々の健康を守るための、さまざまな施設や活動について理解している。

7 単元の指導計画（5時間扱い）本時は○印

（1）学習過程

1	2	3	4	⑤
喫煙の害	飲酒の害	薬物乱用の害	地域のさまざまな保健活動	緊急時の対応
・喫煙にはどのような害があるのか。 ・喫煙の害は、喫煙者だけの問題であるのか。	・飲酒にはどのような害があるのか。	・薬物の乱用を絶対にやってはいけないのはなぜだろうか。	・地域の人々の健康を守るためにどのような活動が行われているのか。	・緊急時にはどのような対応をすればよいのだろうか。 ・AEDを含む心肺蘇生法
一斉指導	一斉指導	一斉指導	一斉指導	T.T指導

（2）学習と指導・評価

時間	○ねらい 学習活動	単元の評価規準との関連	評価方法
1	≪喫煙の害≫ ○喫煙は、心身の健康にどのような悪影響を及ぼすかを理解する。 ○低年齢からの喫煙は特に害が大きく、そのため、未成年者の喫煙が法律で禁止されていることを理解する。 ○受動喫煙にはどのような害があるのかを理解する。 1 喫煙の影響について考える。 2 喫煙の心身への影響について調べる。 3 未成年者の喫煙が禁止されている理由を考える。 4 喫煙が周囲の人にも害を与えることを理解する。	アー① アー① ウー①	・発言の様子の観察 ・話し合いの様子の観察 ・ワークシート
2	≪飲酒の害≫ ○飲酒は、心身の健康にどのような悪影響を及ぼすかを理解する。 ○低年齢からの飲酒は特に害が大きく、そのため、未成年の飲酒が法律で禁止されていることを理解する。 ○喫煙や飲酒を勧められたときに断る理由を考えられるようにす	アー① ウー① イー①	・発言の様子の観察 ・話し合いの様子の観察

	<p>る。</p> <p>1 飲酒をすると心身にどのような変化が起こるのかを考える。</p> <p>2 飲酒による急性影響が原因で、事件や事故につながることを知る。</p> <p>3 多量の飲酒を長期間続けることによる心身への影響を知る。</p> <p>4 喫煙や飲酒を勧められたときに断る理由を考える。</p>		<p>・ワークシート</p>
3	<p>《薬物乱用の害》</p> <p>○薬物乱用が心身に及ぼす害と、社会に与える悪影響を理解する。</p> <p>○薬物には依存性があること、薬物の乱用は法律で厳しく禁止されていることを理解する。</p> <p>○薬物には絶対に手を出さない意思表示をすることができるようになる。</p> <p>1 薬物乱用の定義を知る。</p> <p>2 シンナーの影響について知る。</p> <p>3 教科書の資料を参考に、依存性やメカニズムについて知る。</p> <p>4 薬物乱用が法律で禁止されていることを知る。</p> <p>5 資料を参考に、薬物に手を出すきっかけについて知る。</p> <p>6 薬物には絶対に手を出さないという意思表示をする。</p>	<p>ウー①</p> <p>ウー①</p> <p>イー①</p>	<p>・発言の様子の観察</p> <p>・話合いの様子の観察</p> <p>・ワークシート</p>
4	<p>《地域のさまざまな保健活動》</p> <p>○人々の健康を守るために、さまざまな施設や活動があることを理解する。</p> <p>○保健の学習を振り返り、自分の夢の実現と心身の健康を関連付けて考えられるようになる。</p> <p>1 既習事項を思い出し、学校や地域ではどのような活動が行われているか考える。</p> <p>2 それ以外にどのような施設や活動があるのか知る。</p> <p>3 教科書などから地域の保健所や保健センターの活動を知る。</p> <p>4 夢の実現のためには健康が大きくかかわっていることを理解する。</p>	<p>ウー②</p> <p>イー②</p>	<p>・発言の様子の観察</p> <p>・話合いの様子の観察</p> <p>・ワークシート</p>
⑤ 本 時	<p>《緊急時の対応》</p> <p>○AEDの使い方の練習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>○緊急時の対応のしかたや心肺蘇生の行い方を振り返り、AEDの機能や役割について理解する。</p> <p>1 人が倒れた時の行動について話し合う。</p> <p>2 AEDについて知り、緊急時の対処法を理解する。</p> <p>3 心肺蘇生法について体験する。</p> <p>4 体験を通してもらった感想を発表する。</p>	<p>アー②</p> <p>ウー②</p>	<p>・発言の様子の観察</p> <p>・話合いの様子の観察</p> <p>・ワークシート</p> <p>・実習の観察</p>

8 本時の学習と指導 (5 / 5)

(1) ねらい

- ・ AEDの使い方の練習に進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・ 緊急時の対応のしかたや心肺蘇生の行い方を振り返り、AEDの機能や役割について理解する。 【知識・理解】

(2) 準備 訓練用AED、リトルアン、授業用スライド、小学校安全教育副読本、CD

(3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)		資料・用具 評価方法
		T 1 (担任)	T 2 (養護教諭)	
導入 5分	1 5年生の学習を想起し、人が倒れているときの対応の仕方について振り返る。	○傷病者発見時の初期行動について確認する。 ○①反応の確認の実演をする。 ○②応援を呼ぶ実演をする。 ○③呼吸の確認の実演をする。 ○④胸骨圧迫の実演をする。	○児童の意欲につながるような声掛けをする。 ○①「わかりますか」と声をかけることを確認する。 ○②「誰か来てください」と言い、119番とAEDを持ってくる依頼を確認する。 ○③胸やおなかの動きを見て10秒以内に行うことを確認する。 ○「強く」「速く」「休まずに」行うことが大切であることを伝える。	スライド1,2 リトルアン スライド3 スライド4 訓練用AED スライド5 スライド6 CD
展開 3 5 分	2 本時の学習課題を知る。	○5年生では胸骨圧迫まで学習し、AEDの使用の仕方は未習であることを確認する。		スライド7
	緊急時の対応のしかたを知ろう ～AED～			
	3 AEDの機能や目的について確認する。 副読本P10 「AEDについて知ろう」	○学校以外にも様々な場所にAEDがあることを確認する。	○AEDの役割を詳しく説明し、AEDと胸骨圧迫の重要性に気付かせる。	スライド8 スライド9～11 副読本

	<p>4 AEDの使用の仕方について知る。 副読本P 8～9 「AEDを使おう」</p>	<p>○反応の確認からAEDの使い方までを実演する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>AEDの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源オン、指示に従う ・パッドの装着、コネクターの接続 ・心電図解析 ・通電前の安全確認 ・通電 ・心肺蘇生法継続 </div>	<p>○実演に合わせて説明する。 ○AEDの音声ガイダンスに従って使用することを伝える。 ○人工呼吸は本時では行わないことを知らせる。</p>	<p>副読本 スライド 12 スライド 13 訓練用 AED リトルアン ワークシート</p>
	<p>5 2人組で協力してAEDの使い方を練習する。 T 1は1・2号車を指導 T 2は3・4号車を指導</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>チェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声の指示に従って行動できたか ・表示のとおりパッドを貼ることができたか ・「離れてください」と言えたか </div>	<p>○行い方を一斉指導する。 ○見ている児童はポイントをチェックし、アドバイスしながら取り組むようにさせる。</p> <p>◆AEDの使い方の練習に進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】</p>	<p>○正しい知識を身につけ、AEDを使用することに抵抗感をもたせないようにする。</p>	<p>訓練用 AED リトルアン</p>
<p>整理 5分</p>	<p>6 本時の学習のまとめをする。 ・わかったことや感想を書き発表する。</p>	<p>○意識や呼吸の反応が分からない場合は次に進んでよいことを知らせる。 ○一人ではできることが限られている。まず第1歩として、助けを呼ぶことが大切であることをおさえる。</p> <p>◆緊急時の対応のしかたや心肺蘇生の行い方、AEDの機能や役割について理解している。【知識・理解】</p>	<p>○中学校でも段階的に学習していくことを知らせる。 ○胸骨圧迫の練習は人の体では絶対にやらないことを知らせる。 ○小学生には技能を身につけることも大事だが、命の大切さ・助け合う気持ちについての理解が大切であることを伝える。</p>	<p>ワークシート スライド 14</p>

